

## 令和4年度 学術賞等選考委員会活動報告

2022年度第一回 日本小児血液がん学会 学会賞等選考委員会 議事録

日時：2022年9月29日 18時～20時

場所：Zoomによるオンライン会議

<出席>

加藤 元博、山崎 文之、村松 秀城、文野 誠久、今井 千速、野村 元成、渡邊 健一郎、照井 君典、滝 智彦、中澤 温子、金兼 弘和、大喜多 肇

<欠席>

康 勝好、田中 祐吉、大平 美紀

\*\*\*

1. 大谷賞について、投票結果に基づいて、下記2本の論文を受賞候補とすることについて承認が得られた。

### 【大谷賞】

1位 佐藤 聡美（聖路加国際大学）

小児急性リンパ性白血病患児における認知機能の前方視的多施設協同研究

2位 高地 貴行（静岡県立こども病院 血液腫瘍科）

小児血液腫瘍診療における抗菌薬適正使用支援プログラム（Antimicrobial Stewardship Program）導入の有用性

2. 第10回日本小児血液・がん学会学術賞 候補論文の選考

応募論文11本が寄せられ、各委員により応募論文の概要について紹介があった。

応募4分野（基礎領域の固形腫瘍分野、臨床領域の固形腫瘍分野、基礎領域の血液疾患分野、臨床領域の血液疾患分野）のいずれにあたるかを改めて検討した。

事前に各委員に行っていただいた評点の平均点を提示し、討議の結果、下記の応募者を受賞者候補として選出した。

### 【学術賞】

基礎領域の血液疾患分野

吉田 仁典（国立成育医療研究センター 小児がんセンター／研究所 小児血液・腫瘍研究部）

NUDT15 variants confer high incidence of second malignancies in children with acute lymphoblastic leukemia

臨床領域の血液疾患分野

大和 玄季（群馬大学医学部附属病院 小児科）

Predictive factors for the development of leukemia in patients with transient abnormal myelopoiesis and Down syndrome

基礎領域の固形腫瘍分野

富田 晃正（京都府立医科大学付属病院 小児科）

Inhibition of MEK pathway enhances the antitumor efficacy of chimeric antigen receptor T cells against neuroblastoma

臨床領域の固形腫瘍分野

荒川 歩（国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科）

Vaginal transmission of cancer from mothers with cervical cancer to infants

### 3. 第3回小児がん病理病態研究学術奨励賞 候補論文の選考

応募論文は4本寄せられ、各委員により応募論文の概要について紹介があった。事前に各委員に行っていたいただいた評点の平均点を提示し、各論文で用いられた研究手法等も含めた討議の結果、下記の応募者を受賞者候補として選出した。

#### 【病理病態研究学術奨励賞】

市川 大輔（名古屋大学大学院医学系研究科 小児科）

Integrated diagnosis based on transcriptome analysis in suspected pediatric sarcomas

### 4. HP への情報掲載について

下記情報について、学会 HP に掲載を社会・広報委員会を通じて依頼することとなった。

<HP 掲載>

- ・各賞の規約
- ・応募要項
- ・各賞の受賞者、論文名

※日本血液学会の HP 参考

### 5. 各賞の規約整備について

各賞の規約整備について現状の状況について共有を行った。規約委員の滝先生に文面の修正を入れていただき、来年度の委員でさらに検討を重ねたうえで、理事会に諮る方針となった。

以上

文責：村松秀城